

- 1) バックアップを強くする
  - ・ バックアップのつよいカテーテルに変更する (Amplatz、Ikari)。
  - ・ ガイディングカテーテルを deep engage させる。
- 2) 前拡張を十分に行う。
  - ・ ノンコンプライアントバルーンで降圧拡張する。
- 3) Buddy ワイヤー
  - ・ サポートの強いワイヤーを使用する。
- 4) アンカーテクニック
  - ・ PCI を行う枝の末梢でアンカー
  - ・ 側枝でのアンカー
- 5) 5 in 6
  - ・ 5 Fr のストレートカテーテルを使用する。

以上の方法が提案された。実際の症例ではステント留置を行う右冠動脈の末梢でアンカーテクニックを用いてステント留置に成功していた。

アンカーテクニックではステントを留置する以外の場所でバルーンを拡張させるため血管を損傷する可能性があり、5 in 6 ではその可能性が少ないのでより良いのではないかとの意見があった。